

孫と一緒にペア

パークゴルフ大会

北海道道南地区P.G.協会連合は、7月31日、函館市内の白石公園パークゴルフ場において小学生以下の子供を対象にパークゴルフの楽しさを体験させると共に、親子との協

調性の大切さ・周りとの融合性の大切さを保ちながら競技する。また、指導者の活動の場面でもあり、指導実践を目的に「孫と一緒に」ペアパークゴルフ大会を開催しました。

親・祖父母とペアの幼稚園児・小学生のペアです。夏休み中、実家に帰省した子供と祖父母が組み、遠くは横浜市から参加したペアもあり、二十一組のペアが参加しました。

この大会を計画するにあたり、協会とP.G.場及び隣接するキャンプ場と綿密に協議を重ね、競技中の安全確保、一般客への配慮を重点に運営方法を検討し、二組のペアに一人の指導者を同行させた。また、打止を十打とし、曲がりのあるロングコースは短くするためティグラウンドを臨時的に移動させた。

プレー中は、祖父母のまねをして打つが、思うようにボールが飛ばず祖父母に「どうしたら」上手くなるの・・と問いただしてみたり、上手に飛んだ時は「ナイスショット」と声飛び交っていました。

プレーをしないが一緒に来た親はカメラを片手にペアの写真を撮影しておりました。

閉会式終了後、参加者の感想を聞いたところ、「来年も是非参加したい」・「おじいちゃんと一緒にプレーして楽しかった」・「おじいちゃんと子供が楽しくプレーしているところを見て、参加させて良かった」・「来年もこのP.G.場で開催して下さい。」・「来年は事前にPRして宿泊者の参加者を増やしたい」

e.t.s.参加者、同行者、P.G.場、協力キャンプ場の感想でした。

この事業の取り組みするに当たり、安全性、一般客との揉め事を心配したが、指導者を同行させたり、運営上に配慮したことが成功したものだと思います。

来年以降も続けるよう努力したい



道南地区連合会通信員
廣田耕三

